

2024年2月4日

R5年度神奈川県スポーツ推進委員大会in横浜

林 但

2月3日(土)は県内各ブロック輪番制のため今回は横浜市で行われました。約30年位前に6年間ボランティアで通った県立歴史博物館が近くにあり懐かしい所です。会場は横浜市民文化会館・関内ホールに約900名強の方を集め表記は開催されました。

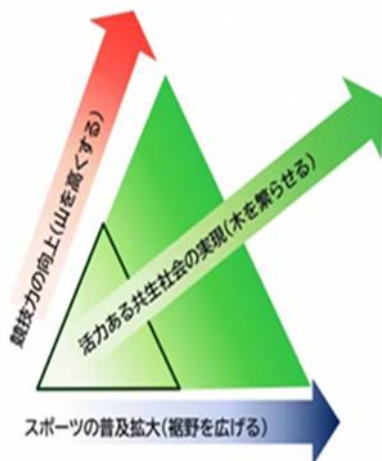
アトラクションとして、神奈川県警察音楽隊の演奏続いて横浜中華芸術劇団の中国伝統的「京劇」と民族楽器「古筝」の生演奏を楽しんだ後、開会に先立ち1月1日の石川県能登地方の方への黙とうの後大会は開催いたしました。

通常とは異なり、今回は基調講演が表彰の前に始まりました。講師は高橋秀文氏(前(公益)日本パラスポーツ協会副会長、前日本パラリンピック委員会副委員長)で、テーマは「パラスポーツを通じた共生社会の実現」である。有意義な講演で私も少し障がいある方の支援をさせていただいておりますが、新たに気づくことなどが出てきました。

気づいたこと感じた事他を記載いたします。

(1)1964年東京パラリンピックでは外国の方は社会人・自立している。日本人は病院又はリハビリ中の方が出場。名誉総裁だった皇太子殿下(現在の上皇殿下)は「外国人はみんな明るい、体力も勝っている」の一言で国として障がいの方に対して積極的に取り組むようになった。・・・知らなかった!

(2)2030のビジョンでは、下記にある図のように考えている。ひとり一人が違っていい、活力ある生き生き社会を目指す。そのためには、山の形をした三角のイメージで、底辺となる横軸では裾野を広げるようにパラスポーツの普及拡大を図り、斜め軸では山を高くするように競技力を向上させる。横軸と斜め軸の2辺を伸ばして三角形の面積を大きくしていけば、大きな山に木がしげるように活力ある共生社会が実現する」



出典：日本パラスポーツ協会

出典：日本パラスポーツ協会

(3)事例がいくつか出てきた、例えば日本人記者がプロテニスプレイヤーのフェデラーに質問したら、君は国枝慎吾を知らないのか、彼は凄い筋肉でプレイヤーとしても、人間としてもすごい。なぜ彼をもっと取り上げない、障害のあるなしに関係なく接触していく

べきだ。フェデラーはいつも4大大会で彼を見ている、本当にすごい人だ!!!

- (4)三重県での全国大会の講演者の宇田選手と奥さんの事例も出てきた。
- (5)童話「ウサギとカメ」の話は、あまりに有名な童話です。ウサギは油断して昼寝をしてしまった。この童話の本当の狙い・理由はいったい何なのか。ウサギとカメでは、「見ている所が違った」ということです。ウサギは、カメを見ていました。だから、ノロノロとやってこないカメに、油断をしてしまったのです。言わんとしているところは、カメはゴールが何かをしっかりと見極め、競争相手に惑わされることなく、ゴールを見ることの重要性です。レースの本質をこそ、しっかりと捉えよ、ということなのです。
- (6)共生社会、健全者も障がい者も一緒にスポーツができるとよい。公平性やクラスわけ、少ない？が劣るなどという考え方、いろいろあるがなくしていきたい。
- (7)共生社会を実現するため何が要になるか？ まずは、「子どもへの教育が大きな柱。すでに『I'm POSSIBLE (私はできる)』というパラスポーツ教育の教材を使い、小中学校でパラスポーツの体験会などを実施している。『Impossible (できない)』という英語にアポストロフィーをつけると『私はできる』に変わる。この教材は、ちょっとした意識の変化で世の中が変わっていくということがテーマだ」そうである。
- (8)「体験会では小学生が『東京パラリンピックで本物の試合を見たい』という感想文を書いてくれる。競技会場が無理ならば、テレビを通じてでもよいから、見てもらいたい。見ればわかるし、見れば変わる」
- (9)「意識が変わり、日本が共生社会に向かっていけばうれしい。パラリンピックを見た子どもたちがこれからの日本をつくってってくれる。パラスポーツ教育の活動を30年に向かって展開しながら、日本を大きな意味で変えていきたい」との事。
- (10)岩戸学区ではここ数年スポーツ推進委員が小学校に伺い、ボッチャの指導を授業で行っておられる。こういう事例は知らない方が多いように思う、すでに気づいて取り組んでいる学区のあることも記載しておきます。
- (11)以前「みんなのスポーツ」に出ていた事例と同じだと思ったのが、障がいのある方が困っていたら、何をしたら良いですか、何かお手伝いしましょうかなど声を掛けることが大切だといわれていた。
- “(12)最後に魯人の言葉を紹介されました、「元々地上に道はない。歩く人が多くなれば、それが道になる」 このフレーズは中学3年生の教科書に、必ずと言ってよいほど載っている物語のラストシーンに使われている言葉です。

基調講演の後は10年間スポーツ推進委員をされた方が119名表彰されました。横須賀市からは3名の方です。

<まとめ>

・今回は長文になりましたが、共生社会に向けてみんなで考えるととても良い講演だったと思います。また、基調講演と表彰の順番が逆でしたがこの方法もよいように感じました。

====詳しくはスポ推63号で確認ください。====